

令和4年度第2回恵那市教育環境等検討委員会会議録

開催日時	令和4年10月26日(水) 午後7時~		
開催場所	恵那市役所 会議棟 大会議室		
出席委員	委員長	瀨 瀨 佳 恭	
	副委員長	宮 地 喜 義	
	委員	前 川 登	
	委員	安 藤 常 雄	
	委員	若 森 慶 隆	
	委員	安 田 和 枝	
	委員	林 昌 志	
	委員	遠 山 邦 明	
	委員	後 藤 純 一	
	委員	大 島 聡	
	委員	林 廣 和	
	委員	細 江 幸 次	
	委員	篠 原 徹	
	委員	鰐 部 靖 子	
	委員	玉 置 崇	
欠席委員	委員	小 出 日香梨	

説明のため出席した学校再編対策室職員

教育委員会事務局長兼学校再編対策室主任主査	長谷川 幸 洋
教育委員会事務局次長兼学校再編対策室長	佐々木 和 美
学校再編対策室副室長	安 藤 善 和
学校再編対策室主査	原 久 晃
学校再編対策室主査	村 瀬 か な

議 事

- 1) 委員会の役割について
- 2) 前回会議の意見
- 3) 前回会議の意見(保護者)
- 4) 答申の確認
- 5) 今回の検討事項

その他

次回開催：令和4年11月中を予定

開 会(午後7時)

事務局 それでは、これより第2回恵那市教育環境等検討委員会を始めさせていただきます。

1 挨拶

事務局 縦横委員長様、挨拶をお願いいたします。

委員長 それでは皆様、改めましてこんばんは。お忙しい中、そしてだんだん寒くなる中、会議のほうに参集していただきまして、ありがとうございます。

前回、熱い議論をしていただきましたけれども、改めて前回の会議を思い起こしますと、その中の意見の中で一番はこの会の役割が少し明確ではないという部分で、恵那南地区の中学校の編成についての課題に対して、一直線に向かっていく会議であるというような意見と、教育委員会の部分のところで、開校までの期間までに実施できないということ、極めて遺憾だというような形の意見がありました。

その意見を踏まえて、事務局に相談して本日の検討内容等を決めてきております。

本日の中心は、提言内容に盛り込むための提言の中身を検討するということが一番大きな課題ですので、今日ぜひ皆様方の御意見を基に進めていけたらと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

最後になりますが、玉置先生、オンラインのほうで参加をいただきましてありがとうございます。また、いつものように聞いていただいて、最後にアドバイスをよろしくお願いいたします。

委員 こちらこそお願いいたします。

2 議事

事務局 ここからの進行は縦横委員長様、よろしくをお願いいたします。

委員長 それでは、議事のレジユメに沿って進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、委員の役割についてということで、事務局から少し説明を求めます。よろしくお願いいたします。

事務局 委員会の目的は、恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討し、恵那市教育委員会へ提言する。これが目的でございます。

ただ、このことに対して前回の会議で多くの意見を頂きましたので、このあと説明させていただきます。

委員長 目的のことについて何かご意見ございますか。

委員会一致で確認したということをお願いいたします。

では、前回会議の意見ということで、これも事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料に沿って説明。前回の皆様の意見からまとめました。

そのまとめとしましては「早急に恵那南地区の中学校の統合を進める」ということの着地点ではないかとまとめさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。

委員長 今の説明について何か質問やご意見をお願いいたします。

それでは、前回の意見から、再度確認をいたしますが、この会の役割は、恵那南

地区の望ましい教育環境について検討し、恵那市教育委員会に提言する会議とすることと、早急に恵那南地区中学校の統合を進める。このことを検討する検討会議とすることで、確認してよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）
それでは、次、前回の意見で保護者の意見について事務局から説明をお願いします。

事務局 前回の意見の中から、通学方法について、再度検討してほしいという意見がございましたので、そのような意見から前回の会議の意見も踏まえまして、明知鉄道を本当に使うのか、駅までの通学は子どもにも負担になる。自宅から明知鉄道の際、最寄りの駅までの通学、山岡の駅から新中学校までの通学は安心して安全なのか、通学時間を考えると部活はできるのか。親の負担が出るのでは。スクールバスで通学のほうが安心という意見が多くありました。

そういった意見からまとめさせていただいたのが、子どもたちの通学については、安心安全を優先し、保護者の送迎の負担を考慮するということから、全地域スクールバスの通学で検討する、とまとめさせていただきました。よろしくお願ひします。

委員長 保護者の意見のことについて、ご意見等がございましたら、お願いしたいと思ひます。

委員 今、通学方法について提案がありましたけども、事故が起こった場合の保障ということを考えますと、スクールバスというのは市が直轄的に運営するものでございますので、そこで起こった事故等については、市と当事者との間で話がつきますけれども、明知鉄道になりますと例えば明知鉄道の不備で何か事故が起こった場合には明知鉄道と本人ということになり、また別に第三者が関わった場合など、事故について非常に難儀なことも考えられますので、私としては通学という選択肢はスクールバスのほうが責任の取りやすさ、そして迅速さということがいいと思ひます。

以上です。（「賛成です」と呼ぶ者あり）

委員長 ありがとうございます。ほかの方はどうでしょうか。よろしいですか。
それでは、続けて、この答申の確認というところを、事務局から説明をお願いします。

事務局 答申書を朗読。

委員長 ご意見はございませんか。

委員 確認ですけど、今事務局から話があったこの答申というのは、以前提出されたものという認識でよろしいですか。

事務局 はい。平成28年3月に提出された答申書の内容です。

委員 一番スピーディーで、コストが安くできるかといったら今ある学校をそのまま使って、そこに入るというのが一番早くて安いです。

この先10年ぐらいすると、今統合したところは、さらに統合を続ける必要となってきます。教室の数が足りないということになったら、数年はプレハブの校舎ですとか、あまり大きな金をかけて新しい学校を造るよりも、今のところの方がいいのかと。そして、もう一つはこの話の最後は議会で承認を受ける必要があ

る。議会の承認のことを考えると、今ある一つの学校を山岡とは言いませんが、どこかの学校をそのまま使ってスクールバスで通学する。学校の増改築は最小限にする。5校を1校にすると専門の教員の配置ができ、幅広い層の教員を配置することで、子どもたちの教育環境がよくなると考えます。

これはあくまでも私の考えです。以上です。

委員長 この答申について、他に意見はありますか。

委員 今回の答申の確認ですけど、平成33年度は、令和にすると3年ですよ。過ぎているので、新たな目標設定地を開示してほしいと思います。

委員長 私のほうから、この年のことについて少し話をさせてもらいたいと思います。この答申の確認で、何を確認したいかというのが一番ですが、様々な意見があると思います。

例えば、恵南を2校にしたらどうですかとか、そのような形とかありますが、基本的には1校に統合する。それから山岡地区に平等性を考え決められたということがあります。

それは、基本の中心は10年あるいは15年スパンを考えたときに、少なくとも2学級。1学年2学級を確保する方向を何とか実現することが子どもにとって一番いいことではないか。

詳しくいうと、基本的には教員は学級数にかけて約1.8倍の教員数が確保できます。3学級しかなければ5人が6人ですけども、6学級ありさえすれば、10人ぐらい確保できて最低限10年間の間、専門教科が受けられるなど、前回の答申を出すにあたり考えられた。あるいは生徒数に応じて国の補助の関係。だから、新たな学校をつくるときは、より子どもたちの為の形がいいのではないかと。これらがこの文言になっていると思っています。それで、確認をしたいのは、その考え方の部分のところではありますが、例えば2校にするとかそうじゃなくて、1校に統合して場所は山岡にするという、この2つについては今後の方向として望ましいというように確認をさせてもらって、提言内容のほうに入っていきたいと思います。よろしいでしょうか。その確認です。

委員 前回の答申のときに、山岡地区というのが住民の総意なので、それはいいのではないですか。

委員長 それでは、いよいよ中心になりますけれども、変更事項の検討に移りたいと思います。よろしいですか。それでは今回の提言の内容の検討事項は、より早く学校をつくり出すため特に重要なものを3つ提言の中に盛り込んだらどうかというような形を指してもらいました。

本日は、この3件について検討していただきたいなと思いますので、まず通学方法、それからもう一回開校時期の再設定をすること、それから場所ですけど、この3つを大きく提言に入れて、基本的には新しい学校へ再スタートを早めるという形にしたいと思います。

これについては、一人ずつ意見を伺っていくという形にしたいと思いますので、まず通学方法から参りますが、前回検討の中でいろんな案が出ておりましたが、これはどれが一番望ましいかということを書いていただければありがたいと思

- います。
- 委員 先ほども言いましたが、スクールバス。なぜかという、安全性ということと、もう一つは電車に乗るなら金がかかるけれども、スクールバスなら無料ということで、これに勝るものはない。
- 委員長 皆さんはいかがでしょう。よろしいでしょうか。
- 委員 同じくです。
- 委員 私も同じくです。明知鉄道にするメリットが全く見えない。
- 委員 通学方法に関しましては、特にはないですけど、恵那西中でも、恵那北中でもスクールバスは使用されていると思うので、それはそれでそれに従ってやっていただければいいかなと思います。
- 委員 私もスクールバスの通学でよろしいかなと思います。
- 委員 僕もスクールバスが一番いいと思っています。もし明知鉄道にした場合、駅から全部改築しなきゃいけない、メリットが全くないので、スクールバスでいいかなとは思っています。
- スクールバスに関しましては、遠方の方、それから近い方も含めて安全性も、それから利便性も含めて賛成です。あと、バスの台数ですとか、時間というものが当初の目的が達成できるレベルまで持っていけるということが不安ですので、ぜひその通りになるように実現をお願いしたいと思います。
- 委員 僕もスクールバスでいいと思います。具体的に開校をして、学校の教育活動が始まった。そういうときに行事とかそういうもので柔軟に登下校、対応できることを考えるとスクールバスが本当適当ではないかというふうに考えます。
- 委員 スクールバスに賛成です。
- 委員 私も同様です。先日も、保護者の方がやっぱり心配してみえたのは、バスだといいなということも、ちょっと耳にしておりましたので、賛成です。
- 委員長 ありがとうございます。それでは、皆さん方の意見をみるとここは通学方法の中心になるものは、スクールバスです。明知鉄道のほうは考えず、スクールバスを基本とするという形が皆さん方の意見ということで、このバス通学を提言としていきたいと思います。
- それから、次に移りますが、この開校時期、ご意見を求めたいと思います。
- 委員 場所も一緒に考えましょう。
- 委員長 今意見がありましたけど、事務局のほうから時期とか場所に対して、どのくらいかかるのかという意見をいただいて、概略になりますが、事務局に調べていただいています。それを聞いていただいて、時期だとか、場所というものを、既存の学校になるとおおむね何年ぐらい、新しいところへ移っていくと何年ぐらい、ただ法律的なこともありますけれども、そのおおむねのところを少し調べておりますので、それを聞いていただいた後、時期なのか、場所なのかをと思いたしますので、こちらで説明させる時間をいただけたらと、事務局お願いします。
- 事務局 農地利用をした場合、山林を利用した場合、既存の校舎を利用した場合の最短の年数を説明。最短で3年必要等を説明。
- 委員 最短の3年は市役所の3年であって、委員会ではもう少し早く。まず、この会議

で教育委員会への提言ができるのが、大体12月末か1月に入る。そして、教育委員会から市長に対して、さらに1か月くらいだとしますと、市長に届くのが4か月くらいになるのかなと。そうすると、議会が6月議会で決定し、そこで大体の線が出たとしても、令和6年度4月からというのが考えられます。よくよく考えると春休み1週間程度しかないということ考えたときに、夏休みは1か月ぐらいいりますが、学期の下半期から移動するというのもいいのかなと思います。また、大規模改修とか増築といったときには、設計変更した場合、さらに1年ぐらいい延びるといのは必至なので、基本は現有の学校を使うと。そして、足りない部分とか直しが必要な部分は、それに合わせて直すというような形を取ると、賛同を得られると思います。

以上です。

委員長

分かりました。どうぞ。

委員

前回で述べさせていただきましたが、やはり現状を見ると、とにかく1年でも早く、統合していただきたいという思いがあります。

ですので、他の委員が言われたように、新設ではなくて、既存校を利用していったほうが時間は早くできるだろうと思っていますので、私も地元議員さん方を中心に議会のほうへもお願いをしていこうと思っています。

ですので、既存の山岡中学校を改修して1年でも早く統合していただきたいと思っています。

以上です。

委員

前回のときに、統合する、あるいは統合ありきでこの会を進めてくださいということ発言させていただきました。そういうことも踏まえてなるべく早くできる方法がいいかなと思います。

あと、これが拙速にならないように、いわゆる生徒、保護者の方はもちろんですが、市民の方も含めて周知のほうに十分注力をしていただければより良いのかなという気がします。

以上です。

委員

私も既存の学校を改修して、できるだけ早くというふうなのがいいかなと思います。前回、資料でいただいた感じでいくと、令和元年度に生まれて恵南地区のお子さんが60名ということは、2クラスで十分ということになってしまうわけです。

そうすると、新築で10年後に建ったときに、今の既存の山岡中学と同じ規模のものをもう一つ造るということになってしまうので、どう考えてもそれは無駄な話ではないかなというふうに思います。3年、4年、5年ぐらいの間でいければ、ちょっと3クラスという形が動いてくるかなと思いますが、今後、2クラスしかないということを考えながら、この事業を進めていくとやはり早い段階で学校を統合して、一つの学校にするということを第一優先にしたほうがいいと思いますので、現実問題の人数を考えたときに、新築で10年かけてやるというのはあまり意味がないように思います。

以上です。

委員 今の話の中で、議会の承認が要ると。その後、市長の承認が要る。その前に教育委員会に提言をするのがこの会ということなので、早々にこの会での意見をまとめる時期の締めをしっかりと決めて、来年の3月までには教育委員と岡田教育長のほうに報告する内容を決め、かつ予定を決めておけば、おのずと時期と、議会で紛糾するかどうかはこれからの話なので、それは議会の人たちに託すとしたとしても、まず私たち委員会の意見をまとめて報告するのがまず早急かと考えます。

あとは、統合した一番近い学校だと瑞浪北中学校、その後、私の知っている限りでは関市の津保川中学校、板取川中学校と3校ありますので、そこら辺を見ていただくのもいいのかなと。まず意見をここで早急にまとめ上げて教育委員会へ、次へ送り出すのを先決したほうがいいかなと。

時期は早めに決めたほうがいいのは山々だと思いますが、まずは目先の決め事をしっかりと決めて、送り出すというのを先決としたほうがいいと思います。

委員 当初目標からかなり遅れていること、皆さん、期待感っていうのもついてきてしまっているんで、今の子どもたちがこれから合併して一緒にやっていくんだよという意識付け等の期間もいりますので、まず1年というわけにはいかないとは思いますが、なるべく早くやったほうがいいことは私も同意見です。

委員長 ありがとうございます。

委員 今まで出てきた意見を踏まえると、一番望まれているのは、できるだけ早い時期での統合ということを見ると、既存のものを利用するのが一番いいと思います。

先ほど出たように、今現存する学校を利用したとすると、増築あるいは仮の教室を造るということですけど、それがどれくらい続くかという、例えば1年だけであればプレハブでも何とかしのげるのかなとか思いますし、それが3年、4年、続くのであれば増築ということも考えていくと、そこら辺の具体的な見通しが必要かということを感じました。

委員 山岡中の現在の校舎ですが、教室として利用可能な教室は2階に4つ、1階に4つ、普通教室ですので、つまり学年2クラスの対応となっています。それ以上増やそうとすると特別教室を潰さざるを得ないというところで、特別教室が普通教室として使えるかどうかという、まずその判断が必要になります。

前回いただいた資料の、恵那市環境等検討委員会の14ページには、拝見しますと、生徒数、学級数の予測というのが載っております。令和5年度、来年度は5校が統合したとすると仮定の数字だと思いますが、学級数が1年生4、2年生4、3年生4、特別支援が2ということで、現行の山岡中学校にはこれだけ収容する能力がありません。

10年先ぐらいならなんとか、現在の山岡中でも収容できるでしょうけども、もっと早く収容しようとする、大規模改修等が必要になると思います。

そもそも山岡中学校は、すごくきれいな校舎で、見かけもいいですし、内容も非常に充実しておって、何でこんないい校舎があるのに新築という意見が出てくるのかなと。先ほどの保護者のご意見で、スクールバスであるならば、もう既に

新築という案は消えるのではないのでしょうか。新築する必要が、つまり山岡駅の周辺に作るという理由が全く必要ないと自分は思います。

山岡中学校を改修すれば16億円。新築の費用との差額については、岩村、上矢作、明智、串原に4系統のスクールバスを設置するようになってくるので、そのスクールバス路線を運営する資金に充てたほうがリーズナブル、市民の理解は得られるかなと自分は思います。以上です。

委員長 ほかには付け加えありますか。よろしいですか。

それでは、確認をしますが、場所は基本的には山岡町の現学校のところとするということが1つ、それから今の状況としては新築という活用方法に少しこだわるとい形もありましたが、意見としては現学校を最大限に活用するというような方向が、皆様の意見かなというふうに思いますが、そのような形でまとめてよろしいのでしょうか。

あと時期ですが、これは早期に実現、1年でも早くということで、教育委員会が示したのは最低でも3年と言いましたので、8年に開くという形になりますが、1年でも早くというと7年ということについて事務局の意見は。

事務局 議会や予算等を考えると、令和7年度開校は非常に難しいと考えています。

委員 今回の提言は本来ならこの委員会から市長に対して答申をしたいところですが、教育委員会に答申をせざるを得ないというシステムがあるので、教育委員会が市長に提言するときに、提言者が教育委員会とこの我々の委員会も一緒にすることで、要するに住民からの希望がものすごく高いのだと。そして、なんとしても令和7年からやってほしいということを強く申し出て、それで市長に了解を得、さらに議会にも提言することが一番良い。

事務局 改修するにしても増築するにしても、今、山岡の子どもたちが使っているものですから、工事として若干はお時間を、いただかないと心配しています。

委員 山岡の子供たちを半年か3か月、違う学校に避難させる、疎開する。要するに、令和7年度にスタートするために何をすればできるかという考えを持ってほしい。

委員 一番大切なのは、今、どうするかということなので、恵那市の生徒数の全体を見れば、早めにけりをつけてあげたいということは正直なところでは。

委員長 早期にということですが、物理的に無理だというようなこともあると思いますが、答申は5年後を設定していますが、委員方の話から最短の令和7年度開校することが望ましいと提言の中に入れたほうが良いと思いますが、どうでしょうか。

委員 事務局がスケジュールをつくるといい。

次回会議までに、統合までにどんなプロセスあるのか示してもらえますか。

委員長 それは次回の事務局への宿題でよろしいですか。

それでは、本日3つご検討いただきましたが、他にご意見はありますでしょうか。追加としては、早急にやっていくために、もっと具体的なことを考える、実行委員会等を早急に立てるといった意見を盛り込みたいと考えています。

委員長 それでは、まとめます。1つは、スクールバスを原則とすること。時期について

は早期の実現を最大限実現するために、開校時期については令和7年度を目指して欲しいということ。場所は現山岡中学校の現校舎を最大限に活用していく。なんとか早くスタートするという提言をまとめたいと思っています。よろしいでしょうか。

ほかにご意見ありましたらお願いをします。

次回の会議の予定は、私のほうで設定することでよろしいでしょうか。

それでは、玉置先生からアドバイスをよろしく申し上げます。

アドバイザー

今回の会議は本当にクリアで、聞いていても本当に気持ちのよい会議でした。現状と前のことを皆さんそれぞれの立場で言われていて、私はずっと聞いていて、本当に学校間で皆さん、いろんな視点から御意見があったなということです。1時間の中で濃密な会議であり、提言の内容が明らかになったと思います。議事録として公開されても、なんら市民の方は疑問に感じなく、皆さんがきちんと見識のあるご意見があるということは、やっぱり本当にいい話し合いだなと思います。

皆さん方に改めてアドバイスということではないですが、実は文部科学省が公立小中学校の適正規模や適正配置等について、資料を出しております。これは国としてもあちこちでいわゆる小規模校が進むわけですから、それぞれのところで自治体を介して指針を出しています。その指針を少し私まとめましたので説明します。

この会で通学について議論されていますので、その件でいえば、通学距離というのは、指針では6キロ以内、ただし中学校から基準が目安としてありますが、その導入するなどのものについては、なんらこれらを左右されるほどではないということが書いてあるということをやっと押さえていきたい。それだけお願いします。

1番は通学時間です。皆さんスクールバスがいいということなので、この提言の中には入るかどうかは別でお話をさせていただきますが、指針の範囲に伴わないものがあります。通学距離を大きく上回る場合でも、認めているということがあるということです。

その場合はスクールバスの活用もありますが、ただ、時間的には1時間以内が適切なことですが、どのくらいの何ルートで構成したというときの一つの指針にはなるかなと。ただし国が調べているのは、中には通学にスクールバスを使って10分から75分までと幅広いという実態があります。

さらに先のことをお話しますが、通学時間が長くなったり、徒歩の時間が短くなったりすることで、現実に体力低下や家庭学習の減少といった課題は生じているという問題もあります。例えば、バスに乗りながら、子供たちに学ぶ時間を保障している自治体もあります。それから歩くということも大事なことで、歩数を確保するという点で、一定区間を歩くような取り組みをしている地区もあります。この委員会ではスクールバスで通学は揺るがないと思いますので、参考にしていただければと思ってまとめました。

最後、総合的なことです。当然、通学のデメリットも出てくると思いますが、国の方も自治体のほうで柔軟にということを行っているということ、私の立場でお示しすることが一番いいかなと思って、今日用意させていただきました。ありがとうございました。

教育長 玉置先生、どうもありがとうございました。今後ともまたよろしくお願いいたします。

それではこれで会を閉じたいと思いますので、最後に副委員長。

副委員長 長い時間をありがとうございました。検討委員会の大きな目的は、やはり提言をしっかりとすることです。会議では3つ提言ができあがりましたので、早急に提案をさせていただいて、さっき委員長が申し上げましたけども、やはりここからは保護者の方、地域の方、丁寧に話を聞いて、一番いい方向に持っていくように、市と教育委員会の力だと思いますので、この会議としては十分、いい議論をいただいたと思って感謝をしております。
今日はありがとうございました。

会議終了 午後8時25分